

本棚のすみっこ

平成31年度 第1号〔4月17日〕
港区立高松中学校 学校図書館だより
RAS 和田祐見子

ご入学・ご進級おめでとう！RAS（リーディング・アドバイザー・スタッフ）の和田です。
学校図書館だより『本棚のすみっこ』は、生徒のみなさんに楽しんで読んでもらいたく、意識的にくだけた言葉づかいを多用しています。ご理解ください。特に冒頭のこの欄は、話題もゆるめ。楽しい学校生活を応援しています。



新元号。友人たちに「和」の字が入ると根拠もなく言い張っていた和田はドヤ顔です。ふっ他の候補を知ってしまうと、万和（ばんな）も良かったなーと思っちゃいますが、令和は西暦に変換するのも、レイワ(018)を足したらあら簡単。そこまで考えて決めたとしたら拍手ものでしょう。

START!

早い人は10日にのぞきに来てくれました。学校図書館の開放は、もう始まっています。図書委員の当番活動は今週末からになる予定です。それまでお手伝いしてくれる人がいると嬉しいなあ…。

※1年生へのガイダンスが終わって※

年度当初の時間をいただき、1年生に図書室のガイダンスと本探しオリエンテーリングをしました。これからたくさん借りてください。

班対抗オリエンテーリングの所要時間、上位記録は以下のとおりです。班の人数がまちまちでしたので、あくまでも参考程度ということで。



1位	1年1組3班	3分25秒
2位	1年3組4班	4分56秒
3位	1年1組4班	5分41秒
4位	1年1組2班	6分12秒
5位	1年1組1班	7分16秒
6位	1年2組1班	7分20秒

図書室内に正答を
掲示してあります

まめ情報：GW前なので、今週借りた本を返すのは5月7日(火)でOK。厚い本にチャレンジしよう！



『こどもの読書週間』

4月23日(火)は『子ども読書の日』です。そして4月23日から5月12日までの20日間は『こどもの読書週間』とされています。今年のキャッチコピーは

「ドは読書のド」です。

誰もが知っている、耳になじんだあの曲。一節をそらんじてしまうほど読んだ本ってありますか？読書週間には貸出冊数を5冊に増やします。長い連休に入ります。どうぞたくさん読んでください。

話題作を読んでみよう

『そして、パトンは渡された』 瀬尾まいこ 【913セオ】

血の繋がらない親の間をリレーされ、4回も名字が変わった森宮優子、17歳。父親が3人、母親が2人。だけどいつでも両親を愛し、愛されていた…。身近な人が愛おしくなる、優しい物語。

◇去年の9月にお薦めしたこの本が、本屋大賞に選ばれました。

『花曇りのむこう』という短編が1年国語の教科書に掲載されている作家です。

賞を受けて瀬尾さんは「誰かを大切にしたり、愛おしく思ったりする気持ちは、決して、“血の繋がり”だけで生まれるものではない」「血が繋がっていてもいなくても、誰かに愛情を注ぐことはできる。そして、それは愛情を注ぐ側の人生をも変えてくれる」(文藝春秋2019年5月号より)と語っています。

ちなみに、元中学校教員の瀬尾さんは「生徒も娘も同じくらいかわいい」と思っているそうです。同じくらい…かはともかく、大切に思う気持ちはよくわかります。



本屋大賞決定

よろしく♪新しい仲間です

学校司書が交代しました。今年度の担当は、菅谷さとみさんです。

4月から毎週水曜日に来校します、菅谷さとみです。小学生の時に、エラリー・クイーン『Yの悲劇』を読んでから本が好きになりました。高松中図書室の棚を見ては、毎日ワクワクと本を楽しんでいた頃を思い出しています。みなさんが「読書って面白い!」「図書室って楽しい!」と思ってもらえるためのお手伝い如果能したら嬉しいです。

